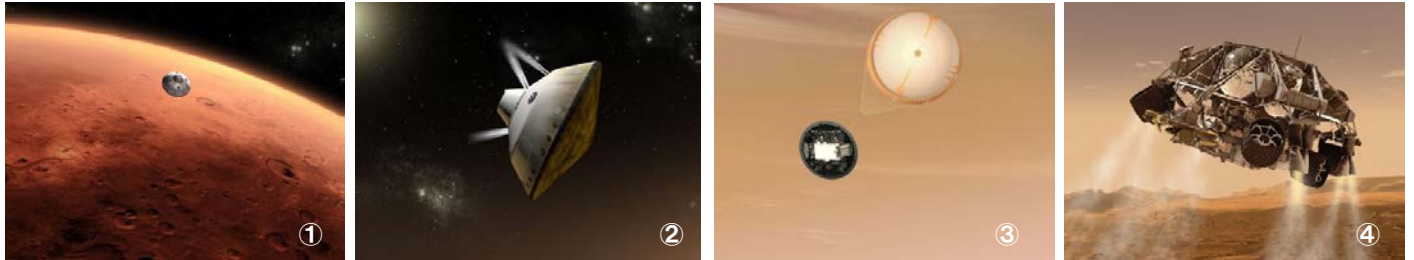


NASAの火星探査ローバー 「キュリオシティ」が火星表面に着陸成功！

2012年8月6日午後2時30分過ぎ(日本時間)、アメリカ航空宇宙局(NASA)の火星探査ローバー「キュリオシティ(日本語で『好奇心(こうきしん)』という意味)」が火星の赤道付近にあるゲール・クレーターに無事着陸しました。



【火星探査ローバー「キュリオシティ」着陸までの流れ】
(CG イメージ)

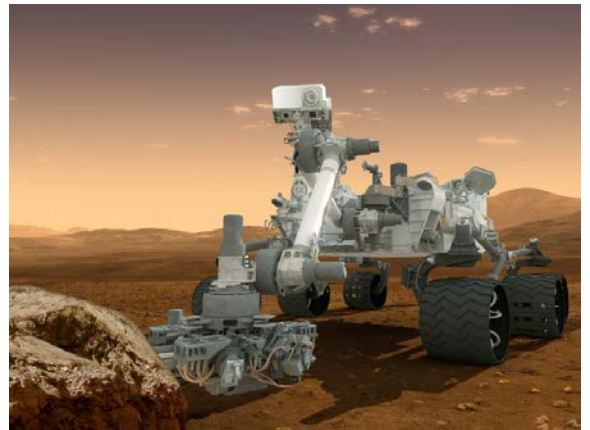
- ①：火星軌道に到着
- ②：カプセルが大気圏に突入開始(高度約125km)
- ③：パラシュートを展開、地表をレーダーで調査(高度約11km)
- ④：カプセルと逆噴射機能を持つ降下用の装置が分離(高度約1.6km)
- ⑤：逆噴射する機能を備えた降下装置で着陸地点まで飛行(高度約20m)
- ⑥：ワイヤで吊り下げられ滑空しながらゆっくりと着陸

画像提供: NASA/JPL-Caltech

「キュリオシティ」は2011年11月26日にアトラスVロケットで打ち上げられた「マーズ・サイエンス・ラボラトリー」に搭載されている無人探査ローバーです。

全長3m、重量約900kgとこれまでの火星探査ローバーの中では最も大型です。地球からの指令に応じて火星地表を自由に動き回りながら調査を行うほか、搭載されたロボットアームで岩石を採取し、成分を分析する装置を備えており、火星の地表に生命の痕跡(こんせき)が無いかを調べます。

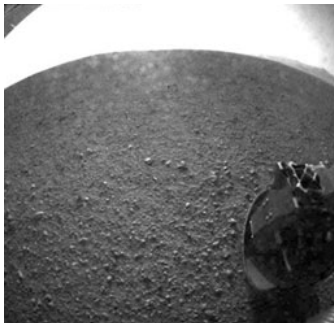
「キュリオシティ」は1トン近くの重さがあることから、カプセルから切り離された後、逆噴射する機能を備えた降下用の装置で地上20mまで降り、そこからワイヤで吊り下げられて滑空しながらゆっくり地表に着陸するという難しい方法が採られました。



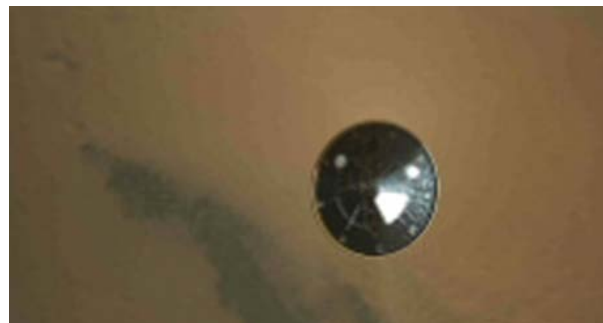
火星探査ローバー「キュリオシティ」(想像図)

提供: NASA/JPL-Caltech

着陸直後に「キュリオシティ」から届いた画像

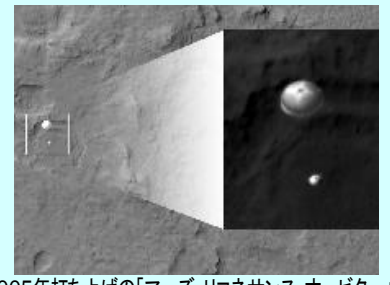


火星地表のパノラマ画像



降下中に分離し、落下していくヒートシールド

降下中の「キュリオシティ」を別の火星探査衛星が捉えていた！



2005年打ち上げの「マーズ・リコネサンス・オービター」が降下する「キュリオシティ」を軌道上から捉えました！

Mars Science Laboratory
Curiosity: NASA's Next Mars Rover



「キュリオシティ」の最新情報は、下記ウェブサイトでチェック！(英語)

http://www.nasa.gov/mission_pages/msl/index.html